

はじめの一步！

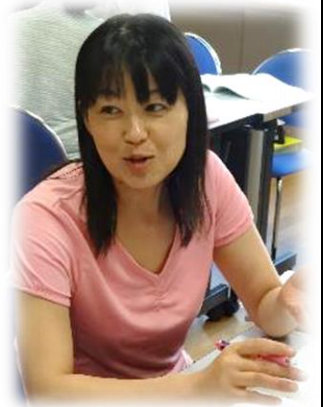
時代は動き出したか!?

2018.09.20

No.31

校長 渡邊 幸二

昨日の職員会議、本当におつかれさまでした。二つの協議が終わった時点で午後4時。1時間半あまりの協議だったのですが、私にはもっと長く感じられ、もうそろそろ勤務時間終了間際かと思ったほどでした。その後、最後の1本の協議があったので、見ている私もクタクタでしたが、話し合っている先生方はもっとお



疲れだったことでしょう。

管理職となってから、ずっと「こんな職員会議は“会議”じゃない!」という思いがあり、何とか改善を図り、もっと本音で話し合える真の「会議」にできないかと考えていました。そういう意味で昨日の会議は、**大きな一歩**となったと感じています。会議題を提案していただいた指導部長さんにも、真摯に話し合っていたいただいた先生方にも深く感謝いたします。



浜田小学校リノベーション(刷新・改善)

話し合いを重ねながらのソフトランディングは、スムーズな移行という意味では理想的に聞こえますが、組織が動くというときは、なかなかそうは行かないように思います。



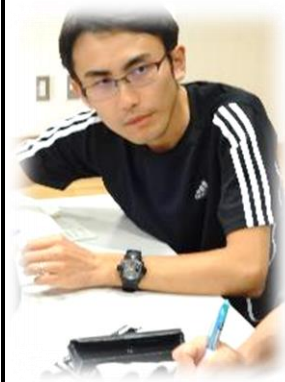
ある日を境に、たとえば法律で決まって、その日からやらなければならないようなイメージで進むのだと思います。もちろん、若干の移行期間があり、その期間は注意されるくらいで終わるが、最終的には法律が適用されていくというイメージです。

ですから、**今日が浜田小学校リノベーションスタート日**であり、**文明開化の初日**であり、**浜田小ブランドの第一歩目の記念日**ということです。



昨日までの風景と

今日、1時間目に学校を回らせていただいたとき、その息吹を大いに感じました。昨日までと同じ景色なのですが、見る人が見れば明らかに違って見えました。昨日言っていた



サインでも出すつもりで回っていたのでしょうか、教頭先生も同じことをおっしゃっていました。上の写真、左は1の2。さっそくコの字型に配置を換えていました。右は5年生。「きく」についてを話し合う、まるで「子ども哲学」のような授業でした。校長の独りよがりのような「がんばろう!」宣言に、先生方が快く(!?)賛同くださり、かくもすばやく実践に移していただけること、以前も言いましたが校長冥利に尽きます。ありがとうございます。

形から入る、形を整えるのも大事です。しかし、それが目的ではありません。授業の中身を変える、子どもたちの知識の獲得の仕方を変える、教師の指導が変わる……それが重要です。子どもが自分の力で生きていけるようにすることが、我々大人の、教師の願いのはずです。ですから学校行事を創っていく上でも、日々の授業を進めていく上でも、子どもの生活を指導する上でも、**子どもの課題**を先生が率先して奪うようではいけないのです。それは子どもの自立を阻害する悪行と思いませんか。そのために、まず…

きく：「聴く」「訊く」

からスタートしていきましょう。

先生方の素敵な表情でのディスカッション、ありがとう！

